

平成23年第2回定例会一般質問

平成23年第2回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日 時 6月6日(月)・7日(火)・9日(木)・10(金) いずれも午前10時から

質問内容 下表のとおり

問合先 議会事務局(電話042-387-9947)

6月6日(月)

氏 名	発言の表題
宮崎晴光	1 東日本大震災後の価値観について (1) これまでの常識を疑うことから始めよ (2) 地域社会の絆を守り強める方向が重要
	2 JR東日本「ラインモール構想」について問う (1) 中央線高架下利用計画のこれまでについて (2) ラインモール構想は地域社会に幸せをもたらすか (3) 東小金井駅北口区画整理の大前提との関連 (4) 武蔵小金井駅への波及について (5) いま行政がなし得ることについて
鈴木成夫	1 東日本大震災以降の小金井市の防災対策について (1) 「災害時要援護者」支援の具体的なアイデアはどのようなものか (2) 小金井市に必要な「福祉避難所」とは (3) 被災者支援等対策本部がおこなう「具体的かつ効果的な支援」とは何か
	2 小金井市の発達支援の取り組みについて (1) 発達支援に必要な業務の検討は進んでいるか
	3 小金井市でも「新しい公共」の活用をしないか (1) 公民連携、市民協働を進めるための具体的手段として
小林正樹	1 東日本大震災を教訓にして、災害に強い情報管理と情報発信の体制を整えるべき (1) 情報発信基地としての役目を果たすため防災基地局への「発電機器」「モバイルデータ通信機器」の配置を (2) 大規模災害に対応した庁内情報の「遠隔バックアップシステム」の構築を (3) 高齢者の安心を確保する「救急医療情報キット」の導入を (4) 災害支援者を守る「被災者支援システム」の導入を
	2 新市長の政策と実現性を問う (1) 本当に公約は守れるか (2) 行財政改革は停滞しないか
露口哲治	1 CoCoバス運行の改善について (1) CoCoバスミニ、野川・七軒家循環のルート変更を問う (2) CoCoバス貫井前原循環のスクールゾーンをどうします
	2 大震災に備えて避難について問う (1) 一時避難所ってどういう避難所。市民への周知は
	3 ごみ問題について (1) 今後の可燃ごみ処理は。広域支援費用20億円のムダ使いを問う (2) 生ごみ堆肥化実験工場の現状とこれからを問う (3) 有機発酵ミネラルぼかしペレット、池田産業の堆肥について (4) ごみ減容(HDM)システムなど非焼却の研究具体案を問う
武井正明	1 新市長の選挙公約について (1) ごみ処理費用20億円のムダの根拠は何か、二枚橋衛生組合の負担金との整合性はどうか (2) 市長の給与と退職金は高いか。市長の給与とその職責。民間企業との比較。何故、市長に退職金は支給されるのか (3) ごみ処理施設建設は、どうするのか
	2 JR東小金井駅高架下利用について (1) 東小金井市政窓口開設に向けたスケジュールを示せ (2) 市、関係団体、JR、東京都などの協議を進めよ

中山克己	1 ごみ処理行政の今後を問う (1) ごみ処理4年間で20億円、本当にムダだったのか。市長の言うムダ使いはいつ止めるのか。目標は (2) 非焼却ごみ減容システムについて、具体的な導入計画と財源計画は。国分寺市との取組み等は (3) 非焼却処理できる先進的な方法の研究とは (4) 調布市、府中市のご理解は得られるのか (5) 新施設は二枚橋の立地で変わらないか。周辺住民の方への説明会等は
	2 新庁舎建設と第二庁舎リース契約解消について (1) 新庁舎建設の工程表と財源計画の見直しは (2) 市有地等の売却と起債について (3) 第二庁舎リース契約解消について、契約上の手続きは。ムダ使いであれば即解消すべきでは
	3 市民交流センター取得について (1) 再開発事業計画は議決を経て進められた経緯からもムダと言えるのか (2) 市とURの関係から工事施工の責任はURのはずであるが (3) 市長ご指摘の問題点とは (4) 住民投票の場合のスケジュールと交付金など財源等に影響は
	4 市長給与20%削減について
	5 支えあいのまち「やさしいまち」ビジョンについて

6月7日(火)

村山秀貴	1 東日本大震災への対応について (1) 「被災者支援等対策本部」の具体的な活動内容は。被災地・被災者への支援。これまでの支援策について。市民への説明は。行政だけでなく市民協働で支援の枠組みを作るべき。市民協働となりうる働きかけを市は行ったのか。岩手県大船渡市等への支援への取り組みは。電力危機対策について。電力制限に対する考え方。小中学校のエアコン設置。時限的な市独自の努力を。自販機節電条例、太陽光利用機器の補助 (2) 食品の放射能測定結果について。なぜ市のホームページが何度も更新されているのか。「小金井市放射能測定器運営連絡協議会」との契約内容は。風評被害等を出さないために問題はないか
	2 佐藤和雄新市長に問う (1) 市民交流センターについて。現状、URと地権者との協議はどのようになっているのか。住民投票は必要か。市長が住民投票をしたいと考える理由は何か (2) 新庁舎建設について。議会对応、市民協働の手続きを市長はどのように捉えているのか。新庁舎での平成28(2016)年1月の業務開始は可能なのか。財源を含めた見通しはあるのか。根拠は
宮下誠	1 被災地(大船渡市)に全力の支援を (1) 他市では社会福祉協議会等が中心となって企画をおこない、一般から災害ボランティアを募ってバスがでている。小金井市でもおこなうよう行政として応援しないか (2) 北上市など近隣市に災害支援の拠点を小金井市として構え、現地情報の正確な把握や、ボランティア調整役として機能させてはどうか (3) 放置自転車を修理し、トラックに満載して寄贈しないか (4) 「がんばっぺし!大船渡」のTシャツをつくり、市内で販売して、応援資金にしないか (5) 現地に拠点を構えるローカル紙を市として定期購読し、日々のニーズを確認してはどうか (6) 「災害ボランティアセミナー」や「防災士入門の講習会」など、市内で開催しないか
	2 幅広い層で楽しめるノルディックウォーキングを市民の健康増進のために普及させてはどうか (1) ノルディックウォーキングを紹介する市民講座を開催しないか (2) 全国の専門NPOと連携し、初心者講習や指導員養成講座を開催しないか (3) 市報に紹介記事を掲載してはどうか (4) 専用ポールに補助金を出さないか

紀由紀子	<p>1 視覚障がい者のために「音声コード」の普及推進を</p> <p>(1) 「音声コード」の普及の状況は、どうか</p> <p>(2) 「音声コード」の更なる普及・推進を行わないか</p> <p>2 小中学校施設における防災機能の整備の推進を行わないか</p> <p>(1) 小中学校にガラス飛散防止フィルムの推進をすべき</p> <p>(2) 備蓄倉庫、防災倉庫の備蓄の拡充</p> <p>(3) 自家発電設備の導入を</p> <p>3 消費者が風評に惑わされないように小金井市は正しい情報の提供を</p>
渡辺ふき子	<p>1 災害発生時の緊急対応を万全に。高齢者や身体障がい者等、災害弱者に対する災害時の緊急体制の拡充が必要である</p> <p>(1) 災害時要援護者に対応する二次避難所を拡充し、早急に指定すべき</p> <p>(2) 大災害を想定した避難訓練の徹底を</p> <p>(3) 緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化をすすめる為、耐震診断、耐震改修に対し補助金を導入しないか</p> <p>2 今こそ自然エネルギー、再生可能エネルギーの活用を。エネルギー政策の転換が求められている</p> <p>(1) 市内の小中学校や、公共施設への太陽光発電の計画的導入を進めないか</p> <p>(2) 食用廃油を回収し、バイオ燃料へのリサイクル事業が進められているが、こうした取り組みに対し、市としても、協力を広げていくべきではないか</p> <p>3 胃がんはピロリ菌の感染症である。除菌と検診をすすめ、胃がんの撲滅を</p> <p>(1) パンフレット等を作成し、ピロリ菌について周知すべき</p> <p>(2) 胃がん検診の際、ピロリ菌の抗体検査を勧めないか</p>
関根優司	<p>1 今、小金井市がとるべき市民の放射能汚染対策はなにか</p> <p>(1) 福島原発の放射能汚染をどう評価するか</p> <p>(2) 現在の公的調査の現状（基準値と調査方法の問題も含む）</p> <p>(3) 日本共産党都議団の調査について</p> <p>(4) 独自に保育園の園庭・小中学校の校庭・公園の地上1mと地表の調査を</p> <p>(5) 食品・水等についても、「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」等に基づいた独自の調査を</p> <p>(6) 国・他自治体や、生活協同組合などの測定値も、測定方法含めてホームページなどで市民に情報を示すべき（小金井市民に関係する部分）</p> <p>(7) 農業委員会からの申し入れと市民測定団体の調査について</p> <p>(8) 医学的に正確な放射能の人体に与える影響と個人の被害防止策の周知を</p> <p>2 芸術文化振興計画について</p> <p>(1) 条例・計画に基づく推進委員会と実施機関の分離、評価委員会の確立は進んでいるか</p> <p>(2) 芸術文化振興計画にもっと小金井市民が参加する工夫をしないか</p> <p>3 仙川と民地の境の余剰地にあじさいを</p>
渡辺大三	<p>1 新市長の政治姿勢と具体的政策について問う</p> <p>(1) ごみ問題（新ごみ処理施設建設など）</p> <p>(2) 新庁舎建設問題・賃借庁舎問題</p> <p>(3) 駅前ホール（市民交流センター）問題</p> <p>(4) 行財政改革（人件費問題を中心に）</p> <p>(5) 情報公開・市民参画</p> <p>(6) 議会との関係・市民との関係</p>

板倉真也	<p>1 震災・災害から要援護者や子どもたちを守れるまちづくりを</p> <p>(1) 災害時の高齢者、要援護者の支援対策について。支援体制をどのように構築するのか。福祉避難所の充実を。民生委員、市職員体制の充実こそ、支援体制確立には欠かせない</p> <p>(2) 乳幼児・児童・生徒が日中の大半を過ごす施設の被害軽減策について。東日本大震災での被害状況と、被害軽減に向けた今後の課題について。耐震診断・補強の現状と、窓ガラス飛散防止、備品等の転倒防止への対応状況について。被害軽減へ予算措置を</p> <p>2 住民の「足」確保のためにバス運行の充実を</p> <p>(1) コミュニティバス事業調査報告を受けての「野川・七軒家循環」「貫井前原循環」の今後の改善スケジュールと、市民要望実現の考えを問う</p> <p>(2) 「西之久保循環」路線バスの1時間あたりの本数増をバス会社に求めるべき。少なくとも、朝の時間帯だけでも増便を</p>
水上洋志	<p>1 防災対策の拡充と震災支援の強化を</p> <p>(1) 市災害対策本部の機能と体制について、今回の震災から何を教訓とするのか。災害対策本部の活動の検証について。今後の課題について</p> <p>(2) 被災地・被災者支援に全力を</p> <p>2 ココバス北東部循環の拡充を</p> <p>(1) ココバスルート見直しの今後のスケジュールについて</p> <p>(2) 北東部循環について、複数ルート化を視野に市民要望の実現を</p> <p>3 都市計画道路3・4・8号線の事業計画は撤回すべき</p>
漢人明子	<p>1 「放射能汚染」の現状と自治体としての対応について</p> <p>(1) チェルノブイリ原子力発電所事故と小金井市の対応</p> <p>(2) 福島第1原子力発電所の事故による放射能汚染の現状と対応。政府の対応と評価。風評被害とは何か。小金井市としての独自の対応を</p> <p>2 市役所改革の推進を</p> <p>(1) 官製ワーキングプアへの改善に向けて。非常勤職員の待遇改善のスピードアップを。公契約条例の策定は進行しているか</p> <p>(2) 市議会議員の報酬についても特別職報酬審議会に諮問し、定期的に検証するべきではないか</p> <p>(3) 審議会等の委員を議員に委嘱することを見直さないか。市長の諮問機関である審議会等の委員を議員に委嘱することは二代表制にそぐわない。条例・要綱等を見直さないか。議員として委嘱する場合は、無報酬にするべきではないか</p>
田頭祐子	<p>1 安心して外遊びが出来る環境を守るには</p> <p>(1) 子どもたちの放射線被ばくに対する教育委員会の見解と指導、対策は</p> <p>(2) 小中学校や保育園、学童保育等での放射線量は測定、把握しているか</p> <p>(3) 大気や表土など環境中の放射能汚染について、市の認識と対策は</p> <p>(4) 公園や緑地など子どもの遊び場での放射線量は測定、把握しているか</p> <p>(5) 大気中の放射能測定を行っている、地元の大学との連携を検討しないか</p> <p>(6) 子どもの施設や遊び場での、放射線量測定と情報公開を進めよ</p> <p>2 安全でおいしい地下水を飲み続けるために</p> <p>(1) 「水道経営プラン2010」について</p> <p>(2) 水道水が一元化された後の、市としての安全性のチェックは</p>
片山薫	<p>1 新市長の政策について</p> <p>(1) 国の原子力政策についての自治体としての考え。小金井での自然エネルギーへのシフト。子育て・子育て支援と男女平等政策について、「子どもの権利に関する条例」の観点からの考え。民主主義的な市政運営や議会や市民との連携など、市政全般における市長の考えを問う</p> <p>2 学校・保育園の給食や校庭などの放射能測定と今後の対策について</p> <p>(1) 原子力発電所の事故後、小中学校や保育園の給食を放射能測定しているか。給食の食材の産地や放射能数値はどのように把握しているか。給食の安全を確保するためにどのような手段が取れるか</p> <p>(2) 校庭や園庭の放射能測定は。その対策は</p> <p>(3) 原発事故が収束しない今、日々変化している状況を把握するために、小金井の大気や土壌、食品や水などを細かく放射能測定する体制を整え、独自の対策を考えないか</p>

6月10日(金)

齋藤康夫	<p>1 新可燃ごみ処理施設について</p> <p>(1) 広域支援により小金井市の可燃ごみ処理を受け入れて下さっている他市の団体へ感謝の言葉を</p> <p>(2) 非焼却システムについて。生ごみ処理のHDMシステムの認識を問う。可燃ごみ全てを処理できる炭素化システムの認識を問う。両者の長所を生かしたシステムを構築すべきである</p> <p>(3) 炭素化システムの実証施設を建設すべきである</p> <p>2 市民交流センター購入について</p> <p>(1) 建設までの経緯の認識を問う</p> <p>(2) 購入の是非は行政の責任で行なうべきである</p> <p>(3) 購入せずに訴訟となった場合、その結果は誰が責任をとるのか</p> <p>3 小金井市職員給与構造改革について</p> <p>(1) 給与構造改革の認識を問う</p> <p>(2) 3月定例会で可決した条例は退職金アップ条例か</p> <p>(3) 退職金引き下げ条例を提出する予定はあるのか</p>
森戸洋子	<p>1 防災計画の見直しについて市の見解を問う</p> <p>(1) 自己責任が通用しなかった東日本大震災、市の見解は</p> <p>(2) 避難所、備蓄倉庫などの改善を早急に</p> <p>(3) 30年以内に更なる大地震が予想される中、東日本大震災の教訓を生かし、防災計画の総点検と見直しを</p> <p>2 原発に頼らないエネルギー計画の策定を</p> <p>(1) 小中学校をはじめとした公共施設の対策などを緊急に</p> <p>(2) 太陽光発電など自然エネルギーへの転換をめざすことについて</p> <p>3 中央線高架下の駅中商店街の進出問題と東小金井駅、新小金井駅商店街の活性化を問う</p> <p>(1) この間の経過と市の対応について問う</p> <p>(2) 東小金井南口商店会を活性化のモデル地区に位置づけている。具体策がみえないが、どう考えているのか</p> <p>(3) 歯科大グラウンドの中にある赤道の整理を行い、道路の整備・補修を</p> <p>(4) 自転車置き場の設置について</p> <p>(5) 空き店舗の活用について</p>
遠藤百合子	<p>1 災害対策の再確認を</p> <p>(1) 東日本大震災被災地への支援の状況は</p> <p>(2) 小金井市の地震による被害を想定した際の対策は</p> <p>(3) 有効な家具転倒防止器具支給及び取り付けの広報を</p> <p>(4) 住宅用火災報知機の設置状況は</p> <p>(5) 小金井市安全安心メール配信件数の更なる増加を</p> <p>2 大事にしたい日本の国旗と国歌</p> <p>3 道徳教育のすすめ</p> <p>4 燃やすごみの処理をどう進めていくか</p>
中根三枝	<p>1 市長が環境先進自治体という具体的中味を問う</p> <p>(1) 何年までにどのようなことをするのか</p> <p>2 市の施設で率先してLEDの活用をするべきだ</p> <p>(1) 現在どの程度使われているか（白熱灯、蛍光灯との割合）</p> <p>(2) 小学校1校、中学校1校で、実験的にすべてをLEDにし、効果結果を公表しないか</p> <p>(3) LEDへの変換をする市民に補助金を出さないか</p> <p>(4) トイレの電気を感知形のものに変えないか</p> <p>(5) LED活用条例を作らないか</p> <p>3 市の防災放送をもっと聞きやすくできないか</p>